

- 農林水産業、商工業等の自営業における男女共同参画の推進

(1) みえ政策評価システムによる評価

みえ政策評価システム

(11306 農山漁村における男女共同参画の推進 - 1)

2002(平成 14)年度 実績
基本事業目的評価表

基本事業名 11306 農山漁村における男女共同参画の推進

評価者 農林水産商工部 担い手経営体育成支援チーム マネージャー 若林清六
059 - 224 - 2354 wakabs01@pref.mie.jp

評価年月日 03/06/04 16:37:15

政策・事業体系上の位置づけ

政策：人権の尊重
施策：113 男女共同参画社会の実現
施策の数値目標：男女共同参画意識普及度

基本事業の目的

【誰、何が(対象)】

農山漁村の男女が

【抱えている課題やニーズ】

農林水産業において重要な役割を果たしている女性が、その働きに見合った適正な評価がされていません。このため、農山漁村の女性が経営や、地域社会における方針決定の場への参画を促進するための環境づくりが必要です。

という状態を

【どのような状態になることを狙っているのか(意図)】

共に経営方針の決定過程や地域社会の方針決定の場に参画している

という状態にします。

【その結果、どのような成果を実現したいのか(結果=施策の目的(2010年度のめざす姿))】

個人の生き方、価値観が尊重されるなど男女平等についての意識改革が進み、実質的な男女平等社会が実現しています。男女共にあらゆる分野に参画する機会が確保され、家庭、地域、職場等において男女共同参画が実現しています。また、男女共に多様な選択を可能とするための条件整備が整っています。

基本事業に関する各種データ

| 2002年度 基本事業に関する実績データ一覧 | |
|------------------------|-------------|
| 基本事業の数値目標達成状況 | 必要概算コスト対前年度 |
| 達成 | 増加 |

2 基本施策に対する評価

- 農林水産業、商工業等の自営業における男女共同参画の推進

みえ政策評価システム

(11306 農山漁村における男女共同参画の推進 - 2)

基本事業の数値目標、コスト、基本事業マネジメント参考指標と実績値

| | | 2001 | 2002 | 2003 | 2004 |
|--|----|--------|--------|--------|---------|
| 農村・漁村女性 アドバイザー 数(人) [目標指標] | 目標 | 130 | 150 | 160 | 180 |
| | 実績 | 140 | 153 | | |
| 必要概算コスト(千円) | | 20,946 | 30,474 | 26,598 | 0 |
| 予算額等(千円) | | 3,264 | 5,534 | 5,098 | |
| 概算人件費(千円) | | 17,682 | 24,940 | 21,500 | 0 |
| 所要時間(時間) | | 4,200 | 5,800 | 5,000 | |
| 人件費単価(千円/時間) | | 4.21 | 4.30 | 4.30 | 4.21 |
| 必要概算コスト対前年度(千円) | | | 9,528 | -3,876 | -26,598 |
| 女性の農業委員数(人) [マネジメント参考指標] | 目標 | | 130 | 160 | 165 |
| | 実績 | 34 | 69 | | |
| 農村・漁村女性 アドバイザー 候補者の研修 (回) [マネジメント参考指標] | 目標 | | 8 | 10 | |
| | 実績 | | 8 | | |
| [マネジメント参考指標] | | | | | |
| [マネジメント参考指標] | | | | | |
| [マネジメント参考指標] | | | | | |
| [マネジメント参考指標] | | | | | |

数値目標に関する説明・留意事項

農山漁村地域において、男女共同参画の実現を図る農村、漁村女性アドバイザーの認定数(基本事業目標の実績値は、2000年度の数値です)

2002年度マネジメント参考指標

| | 種類 | マネジメント参考指標 | 数値目標の困難度 | 達成度 / 5点 |
|---|-----|------------|-----------|----------|
| 1 | 事業量 | 女性の農業委員数 | かなり挑戦的な目標 | 3 |

みえ政策評価システム

(11306 農山漁村における男女共同参画の推進 - 3)

| | | | | |
|---|-----|---------------------|-----------|---|
| 2 | 協働度 | 農村・漁村女性アドバイザー候補者の研修 | 十分達成可能な目標 | 2 |
| 3 | | | | |
| 4 | | | | |
| 5 | | | | |
| 6 | | | | |

マネジメント参考指標に関する説明・留意事項

基本事業の評価

2002 年度を振り返っての評価

【これまでの取組と成果、成果を得られた要因と考えられること】

農林水産業において重要な役割を果たしている女性が、その働きに見合った適正な評価を受けるとともに、経営や地域社会における方針決定の場への参画を促進するため、具体的な参画目標の策定とその目標達成のための方策等を検討する農山漁村女性参画推進会議を平成 10 年 9 月に設置し、平成 12 年 2 月には農山漁村におけるパートナーシップ指標を策定しました。これらの指標の達成に向けた活動をしています。この目標達成のための具体的な取組みとして、農村及び漁村女性アドバイザーを平成 13 年度末までに 140 名を認定するとともに、県域、地域における研修を通じて、農林漁業担い手女性のリーダーの育成に努めています。農村女性の就業条件の整備を図るため、家族経営協定の締結を推進しています。関係機関（フレンテみえ）と連携して「みえの男女（ひと）2003」を開催するなど、農山漁村における男女共同参画社会の実現のための意識啓発に努めています。こうした取組みの結果、平成 10 年度末には 3 名であった女性農業委員が平成 15 年 1 月現在 69 名となっています。

【前年度に残った課題、その要因と考えられること】

国においては、平成 11 年 6 月に「男女共同参画社会基本法」が制定され、男女共同参画社会の実現は、21 世紀の最重要課題のひとつとして位置づけされています。本県においても、平成 13 年 1 月 1 日より「三重県男女共同参画推進条例」が施行され、平成 14 年 3 月には「三重県男女共同参画基本計画」及び「第一次実施計画」が策定されたところであり、この計画に沿った施策を総合的かつ計画的にすすめることが必要です。

農山漁村地域における女性の経営参画、社会参画は始まったばかりであり、女性は農林水産業や農山漁村地域において重要な役割を果たしているにもかかわらず、その働きに見合った適正な評価を受けていない現状にあるため、経営や地域社会における方針決定の場への参画を促進するための環境づくりが引き続き必要です。

総合行政の視点からの評価

「農山漁村の集い」を「みえの男女（ひと）2003」と共同開催し、農山漁村における男女共同参画社会の実現のため意識啓発に努めていますが、今後の課題としては男性の参加者をひとりでも多く参加を求め意識の醸成に努めていきます。

基本事業の展開

2 基本施策に対する評価

Ⅲ－Ⅱ 農林水産業、商工業等の自営業における男女共同参画の推進

みえ政策評価システム

(11306 農山漁村における男女共同参画の推進 - 4)

| 2003 年度 施策から見たこの基本事業の取組方向 | | |
|---------------------------|---|------|
| 注力 | 総括マネージャーの方針・指示 | 改革方向 |
| → | 「パートナーシップ指標」の達成に向けて、農村、漁村女性アドバイザーの育成、農業委員等への登用、家族経営協定の普及等を促進すること。 | 改善する |

<参考>注力：取組への思い入れや経営資源投入など施策の中での力の入れ具合

↑＝相対的に力を入れて取り組んでいく

→＝従来どおりの力の入れ具合で取り組んでいく

↓＝相対的に力の入れ具合を抑えていく

評価結果を踏まえた 2003 年度の取組方向

① 農林漁業や地域興しのリーダーである女性アドバイザーを育成するとともに、県域・地域研修を通じて資質向上を図ります。なお、研修においては、ライフステージ等にあわせてテーマを設定するとともに、男女共同で参加できる環境づくりをすすめます。② 男女共同参画社会を実現するためには、パートナーの男性をはじめ地域社会全体の意識改革が重要であるため、農山漁村女性が果たしている役割をPRするとともに、地域に残る固定的な役割分担意識や慣習などを見直し、方針決定の場への女性参画について広く県民を啓発するイベントを実施します。③ 農村女性アドバイザー等の農業委員会の登用をはじめ、各種審議会・委員会・役員等へ女性が積極的に登用される環境づくりをすすめます。④ 個別経営体における役割分担や就業、労働条件について明文化した家族経営協定の締結を促進し、経営におけるパートナーシップの発揮をすすめます。⑤ 起業にチャレンジする農山漁村女性を支援するため、起業ノウハウ、IT化、経営高度化等に関する研修等を実施します。

| 2003 年度 基本事業マネジメント参考指標と目標値・困難度 | | | | |
|--------------------------------|-----|---------------------|-------|-----------|
| | 種類 | 指標名 | 目標値 | 目標値の困難度 |
| 1 | 事業量 | 女性の農業委員数 | 160 人 | かなり挑戦的な目標 |
| 2 | 協働度 | 農村・漁村女性アドバイザー候補者の研修 | 10 回 | 十分達成可能な目標 |
| 3 | | | | |
| 4 | | | | |
| 5 | | | | |
| 6 | | | | |

2003 年度 マネジメント参考指標に関する説明・留意事項

| 参考 2002 年度構成した事務事業の一覧 | | | | | (予算額等：千円、所要時間：時間) | | | |
|--|-------|-------|-------|-------|---|------|------|--------|
| 事務事業 | 予算額等 | 対前年 | 所要時間 | 対前年 | 注力 | 改革方向 | 貢献度合 | 効果発現時期 |
| | 事業概要 | | | | マネージャーの方針・指示 | | | |
| A きらめく農山漁村女性育成事業 | 5,534 | 2,270 | 5,800 | 1,600 | ↑ | 現状維持 | 間接的 | 長期的 |
| 農村漁村女性の社会参加を推進するため、農村、漁村女性アドバイザー認定し、アドバイザーを対象とした研修、商工関係女性とのネットワーク化の推進、モデル市町村における取り組みへの助成を行います。 | | | | | 「パートナーシップ指標」の達成に向けて、農村、漁村女性アドバイザーの育成、農業委員等への登用、家族経営協定の普及等を促進すること。 | | | |